

# 山の辺の道(南)コース (ハイライトシーン) [実施日--2023年1月10日]



(メンバー) ---計7名 (弥生班)---楠部、木村、中濱、山本、上畑、有本、(他班)---岡本

① (8:00 JR三輪駅)



② (8:20 JR天理駅)



③ (アーケードの天理本通商店街)



⑥ (寒桜をバックに小休憩)



⑤ (山の辺の道の標識)



④ (石上神社の境内)



⑦ (夜都伎神社-やとぎじんじゃ)



⑧ (無人販売所-せんざりやで休憩)



⑨ (衾田陵-ふすまたのりょう)



⑫ (崇神天皇陵~景行天皇陵)



⑪ (トレイルセンターで昼食)



⑩ (長岳寺の境内)



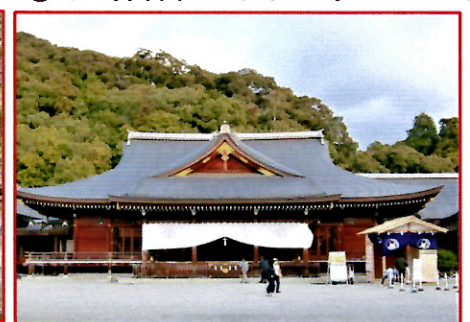
⑬ (桧原神社-ひばらじんじゃ)



⑭ (玄寶庵-げんぴあん)



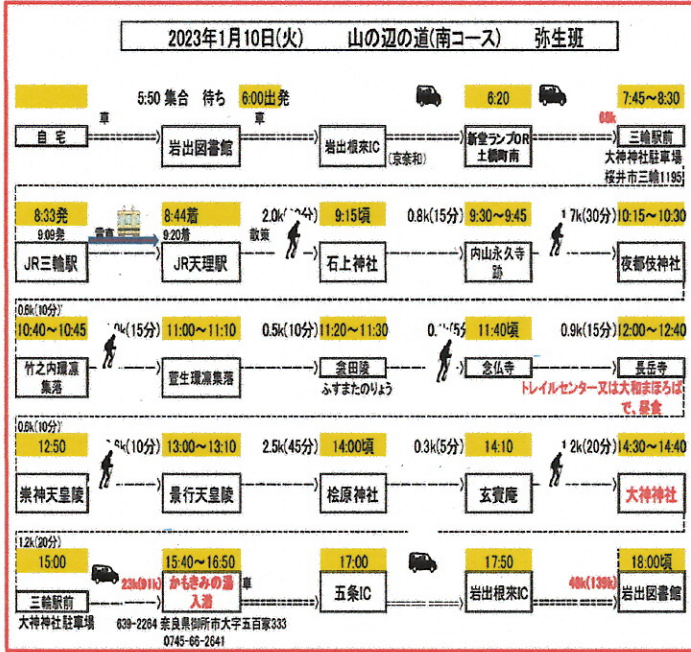
⑮ (大神神社-おおみわじんじゃ)



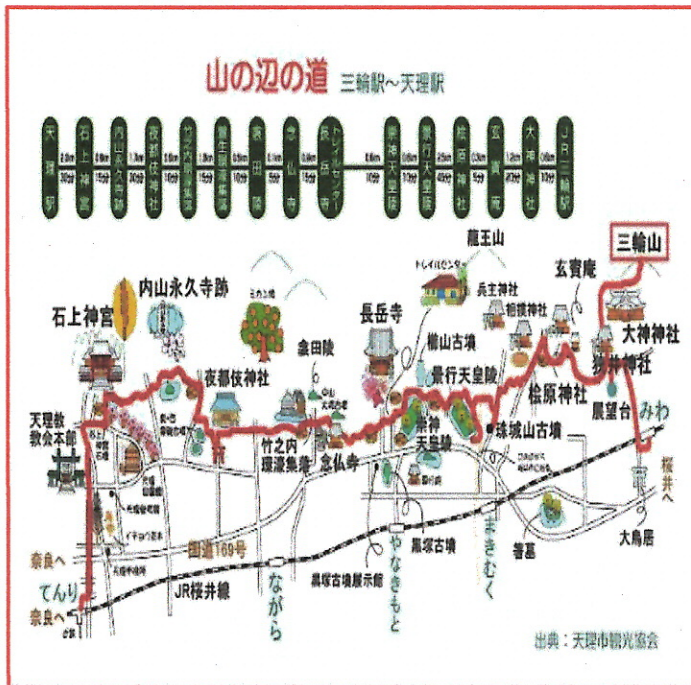
# 山の辺の道(南)コース

※(山行日) -----2023年1月10日  
 ※(メンバー) -----計7名  
 木村、楠部、中濱、山本、上畑、有本、岡本

※(行程) [予定]



## (山の辺の道ロードマップ)



## ※[はじめに]

- 当初計画は三輪山登拝を予定していましたが、二週間前にホームページを閲覧すると「新型コロナウイルス感染症の蔓延状況を鑑み、現在も三輪山登拝の受付を中止」となっていた。
- 急遽、「山の辺の道」に変更し実行しました。

# 紀峰山の会 (弥生班)

## ※[山の辺の道とは?]

- 周囲を小高い山に囲まれた奈良盆地。古代、その東に連なる美しい青垣の山裾を縫うように、三輪山の麓から石上布留を通り、奈良へと通じる道がありました。「日本書紀」にその名が残る、それが「山の辺の道」です。
- 山の辺の道沿いには、今も「記紀・万葉集」ゆかりの地名や伝説が残り、数多くの史跡に出あえ、訪れる人を「古代ロマンの世界」へと誘います。(ホームページより)

(写真1) (8:00 JR三輪駅)



- 今回の「山の辺の道」は縦走路のため、大神神社に駐車し、往路は三輪駅から天理駅まで電車で移動する計画である。

(余談)・天理までは210円であるが、間違って反対方向の桜井駅までの150円切符を購入してしまった。当然、天理駅で精算することになってしまった。前途多難である。

(写真2) (8:20 天理駅)



(写真3) (アーケードの天理本通商店街)



(写真4) (天理教本部)



・立派な建物なので、少し見学する。

(写真5) (山の辺の道の標識)



・商店街を過ぎると「山の辺の道」の標識がいたるところに設置されており、三輪までほどよい間隔で案内してくれます。  
・また標識も多彩で、舗装道路に埋め込み式や、ポール式等、案内だけでなく旅を楽しませてくれます。



(写真6) (石上神社の境内-1)



・鶏(チャボ)が放し飼いされ逃げないので、しばし戯れました。

(写真7) (石上神社の境内-2)



・石上神社——布留明神(ふるみょうじん)とも称し、ヤマト王権を支えた物部氏一族を祀る神社で、『古事記』、『日本書紀』にも記載される古社。

(写真8) (寒桜をバックに小休憩)



(写真9) (夜都伎神社—やとぎじんじゃ)



- ・夜都伎神社—春日大社との関係が深く、江戸時代末期まで神饌を献上していました。また、春日大社は、古くなった社殿や鳥居を60年毎に下賜する伝統があるとのこと。桧皮葺の珍しい神社です。

(写真10) (無人販売所—せんぎりやで休憩)



- ・「山の辺の道」には無人販売所がいくつもあります。
- ・道端に鳥の巣のような箱に入れている所からガレージや無人休憩所に並べている所等、道中の息抜きに楽しませてくれます。
- ・並べられている物は、地元の季節野菜や果物、小豆、米等があり、だいたい100円、中には200～300円もありますが、お得感があります。
- ・中でも「せんぎりや」は、名前の如く千切り大根(切り干し大根)をメインに並べ、休憩所になっています。
- ・我々もここで休憩し、いちごパック(100円)を購入し、無料のコーヒーとともに食べて談笑しました。

(写真11) (衾田陵—ふすまたのりょう)



- ・衾田陵—宮内庁が管理している古墳(西殿塚古墳)で継体天皇の皇后で欽明天皇の母にあたる、手白香皇女の墓と説明書きがありました。

(写真12) (長岳寺の境内)



(写真13) (天理トレイルセンター)



- ・昼食し、エビフライや焼き肉を食べました。

(写真14) (崇神天皇陵～景行天皇陵—1)

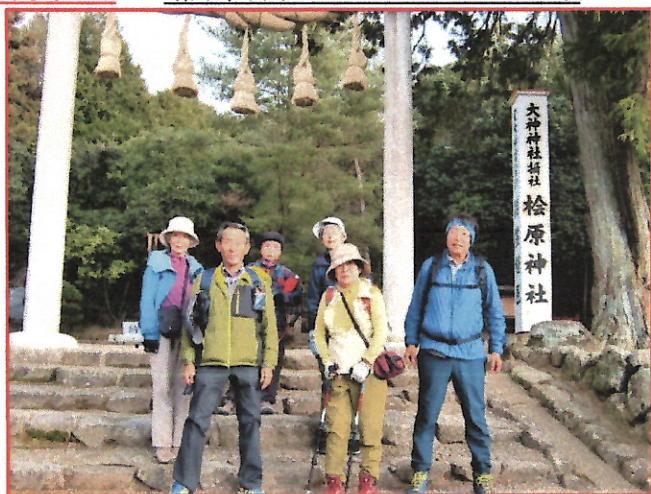


(写真 15) (崇神天皇陵～景行天皇陵一2)



- 天気がよく快調に進む。この辺りは古墳群が点在し長閑な景色である。

(写真 16) (桧原神社---ひばらじんじゃ)



(写真 17) (玄賓庵---げんぴあん)



- **玄賓庵**...平安時代の玄賓僧都(げんぴんそうず)が修業した場所といわれ謡曲「三輪」の舞台としても知られています。

(写真 18) (大神神社)



- **大神神社**...ご祭神の大物主大神(おおものぬしのおおかみ)がお山に鎮まるために、古来本殿は設けずに拝殿の奥にある三ツ鳥居を通し三輪山を拝するという原初の神祀りの様子を伝える我が国最古の神社とのこと。
- 旧来は美和乃御諸宮、大神大物主神社と呼ばれた。中世以降は「三輪明神」と呼ばれ、明治時代になり「大神神社」と改名された。三輪山を神体山である。
- 16:15、最終目的地である大神神社に到着。予定より1時間遅れとなったが無事完走。

-----  
[最後に]

- 天気は上々、季節柄、最初の内は出会う人や山行の人は少なかったが、中間点の長岳寺付近では地元民やハイカーが多くなってきた。神戸からのツワァーハイカーもあり、昼食場所の天理トレイルセンターでは満員状態であった。
  - 昼食が長時間となったことや後半の足取りが遅くなったため、最終的には1時間遅れとなり、予定していた帰路での温泉入浴をパスして無事帰還しました。
  - 以前、春の桜の季節に「山の辺の道」山行した時は、人が多く賑やかであった。今回は冬の大和路で人は少なかったが、これはこれで風情があり、こういう旅もいいものである。
  - 長閑な田園風景と歴史や文化に触れる旅を満喫しました。
-